



受賞者名 **特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン**

取組  
タイトル

## 訪問型子育て支援ホームスタートで、 すべての子どもに幸せなスタートを

所在地 〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-10-1-B棟 2F

電話 03-5287-5771 メール info@homestartjapan.org

取組課題

基盤課題C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」  
重点課題①「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」  
重点課題②「妊娠期からの児童虐待防止対策」

プロジェクトウェブサイト URL <http://www.homestartjapan.org/>

### 会社概要

家庭訪問子育て支援  
ボランティア活動の  
普及と支援の質向上  
に取り組む全国ネッ  
トワーク組織です。

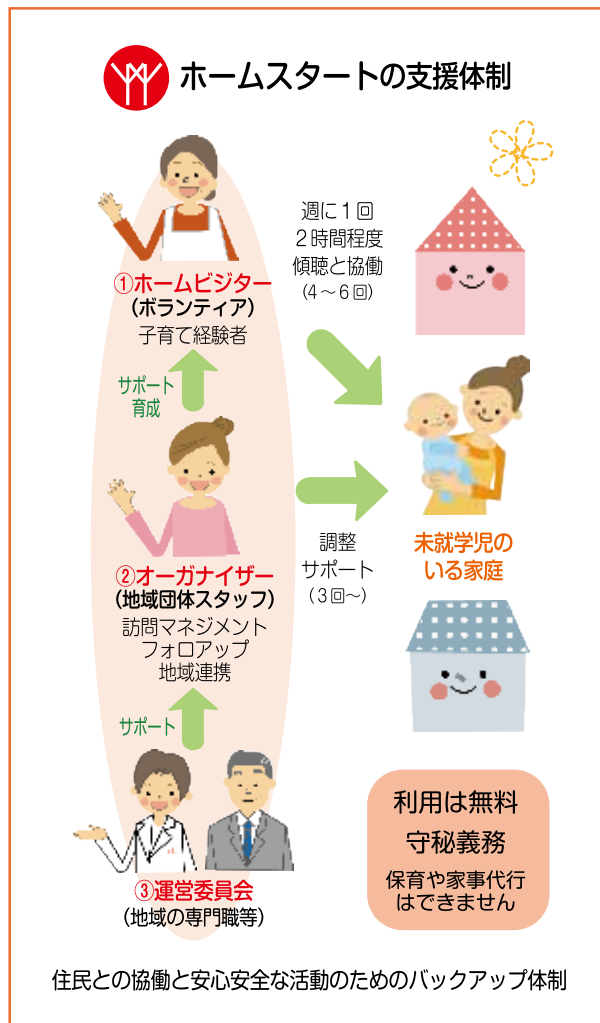
## 取組・事業の概要と特徴

### 目的・概要

子育てが「孤育て」にならないように、私たちは「訪問型子育て支援ホームスタート」活動を通して、子どもの育ちを地域で支え合う豊かな社会を目指しています。地域の子育て経験者が、就学前の子どもがいる家庭に週に1回2時間程度定期的に訪問し、指導や代替（保育や家事代行）ではなく、親の話を聴いたり（傾聴）一緒に家事や育児（協働）をすることで、子育ての悩みや喜びを共有しながら親をエンパワメントします。

ホームスタートは、当事者性を大切にしながらも安心安全で効果的な支援を実現する仕組みを備えています。「ホームビジター」は、子育て経験のある地域ボランティアで、37時間以上の研修を受けて活動します。調整スタッフの「オーガナイザー」は、ホームビジターを丁寧に支えながら訪問マネジメントを行い、母子保健・健全育成・社会福祉分野等の行政各担当課や地域関係団体等との連携により親子を切れ目なく包括的に支援します。外出しにくい家庭では、一緒に乳幼児健診や予防接種、子育てひろばなどに出かける等、母子の健康増進に必要な他の支援を利用できるように援助することも多く、住民による伴走型のこの支援は、親自身の子育て意欲や力を高めて親子のQOLが向上するきっかけ作りに役立っています。

43年前にイギリスで始まったモデルを基に平成21



年に開発した日本版ホームスタートは、全国にひろがり、平成28年11月現在では87の地域団体が取り組んでいます。虐待等の問題発生予防に繋がることが認められ、市区町の委託事業として協働による子育てしやすいまちづくりが各地で進み、母子保健分野と連携した「産前産後サポート事業」や「子育て世代包括支援」の一翼を担える取組にもなっています。

## 成果

ストレスがないように見える子育て家庭も、集団の中で見せない悩みを抱えていることがあります。若年や高齢出産、障がい児や多胎児の育児、ダブルケア、ひとり親、外国人等、地域情報や支援が届きにくく孤立しがちな家庭の多様なニーズを傾聴と協働で支えます。当団体独自の成果指標と活動実績集計データによると、利用者のニーズ充足度は平均90%となっています。又、利用は無料のため、経済的に余裕のない家庭も気軽に利用できます。当団体では、妊娠期からの切れ目ない支援が可能になるよう、本年度から「ホームスタート産前産後支援モデル事業」を展開しています。昨年度の試行事業の訪問では、妊婦の不安感や孤立感にオーガナイザーやホームビジターが良き友人として寄り添い、母子保健専門職と連携しながら情報提供も行うことで産後も早期に社会資源につながることができ、安心して楽しく育児のスタートをきれることが確認されました。



生活の場で親子に寄り添う伴走型支援



一緒に外出することで様々なキッカケ作りにも



福島県ホームビジター交流研修会

ボランティアならではのやりがいと子育ての喜びも地域で共有利用者がボランティアとして活動する循環も生まれています